

しおさい通信

No. 8 2

平成31年4月号

多機能型事業所しおさい
(就労継続支援B型・就労移行支援)

三崎：銚子市三崎町 3-82 TEL：0479-23-9012

春日：銚子市春日町 2058-1 TEL：0479-25-3475

HP：http://npo-new.org/

お茶会開催

3月16日(土)、しおさい春日で「お茶会」を開催しました。

抹茶を茶杓<ちやしやく>でお茶碗に入れ、茶筌<ちやせん>でたてたのは、しおさい管理者の山本さんと元しおさいの職員の岩野さんで、日頃から茶道に親しんでいるお二人です。

この日は、場所と参加人数の関係で2班に分けた上で、椅子に座って行う「立礼式」<りゅうれいしき>で行いました。

着席後、簡単に作法の説明を受け、お菓子(この日は草餅が用意されました)を頂きました。その後、亭主<ていしゅ>(お茶をもてなす側)である山本さんと岩野さんがたてたお茶を順に喫<くみ>きました。

良く“抹茶は苦い”と言われますが、甘い草餅を食べた後にも関わらず、苦くなかったことを皆さん実感したのではないのでしょうか。

お茶会后、うなぎで有名な茂利戸家へ移動して、うなぎ定食(うなぎが苦手な人は上天井定食)を食べ、和の文化と食を愉<たの>しみました。



しおさい見学会

3月21日(木・春分の日)、しおさいへ通所している方の御家族を対象にした見学会を実施しました。この日は10名の方が参加され、春日と三崎での作業を見学しました。これまで作業の様子を直接見る機会がなかったので、ご家族の皆さんは興味深く見学していました。



▲春日見学▲



▲三崎見学

平成30年度社会資源視察研修で来所

3月8日(金)、海上寮療養所、銚子ころろクリニック、友の家、藤田病院の職員6名が、東総圏域内の社会資源を視察し、地域支援の理解を深めるという目的で、かんらんとしおさいへ見学来所されました。

かんらん見学後、しおさい三崎で、パワーポイントを使ってしおさいや法人内の他事業について説明しました。

後日送られてきた報告書には、今回の見学について全員が“とても良かった”と感じたことが記されており、具体的な理由として、「病院に勤務してはわからない、就労移行とB型の違いや流れを詳しく説明して頂き、初めて知ることや理解できたことが多かった」、「パンを製造して、みんなで販売しに行っていることを知り、とても活動的だと感じた」、「精神障害を持たれている方に対する支援、医療との密接な関わりが伝わった」などといった意見が書かれていました。



退職職員へ花束贈呈

3月28日(木)、業務シフトの関係でこの日が最終日となった春日職員の中津恵吉さんと三崎職員の御園和子さんに、管理者の山本さんから花束が贈呈されました。

お二人の今後のご活躍をお祈りします。



～編集後記～ 【三次喫煙】(さんじきつえん)

煙草<たばこ>は嗜好品<しこうひん>(その人の好みによって味わい楽しむ飲食物)であることを理解した上で書きます。以前より喫煙者が吸う煙草や口、鼻から出た煙が流れて来て不快な思いをする「受動喫煙」が問題視されてきました。これが“二次喫煙”と呼ばれるものです。受動喫煙に晒<さら>されると、がんや脳卒中の他、心臓疾患や呼吸器疾患などの病気のリスクが高くなることが分かっているそうです。そうした中、最近では“三次喫煙”と呼ばれる害についても叫ばれるようになりました。これは「残留受動喫煙」と呼ばれ、喫煙者の部屋のカーテンや壁に付着した煙草由来の有害物質が非喫煙者の健康に影響を与えらるという問題です。また、屋外等で喫煙した人が室内に入ってきた時に感じる髪の毛や服等に付着した煙草臭もこれに当たります。まだ十分な研究はされていないそうですが、空気中の物質と反応して変化することから“二次喫煙”以上に毒性が高いとの報告もあるそうです。既に複数の自治体や企業では、喫煙後45分間はエレベーターに乗ることを禁止する等の対策をとったとのこと。喫煙者本人は気にならないのかもしれませんが、煙草を吸った人が室内に入ってくると急に煙草臭が漂<ただよ>います。煙草も値上がりする一方ですし、健康の為に「断煙」した方がいいのでは?と思います。